

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 28 年 6 月 9 日 (2016.6.9)

【公開番号】特開 2014-207589 (P2014-207589A)  
 【公開日】平成 26 年 10 月 30 日 (2014.10.30)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-060  
 【出願番号】特願 2013-84503 (P2013-84503)  
 【国際特許分類】

H 0 4 R 3/00 (2006.01)  
 G 1 0 L 15/20 (2006.01)  
 G 1 0 L 21/0272 (2013.01)  
 H 0 4 R 1/40 (2006.01)  
 H 0 4 N 5/225 (2006.01)  
 H 0 4 N 5/232 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 3/00 3 2 0  
 G 1 0 L 15/20 3 7 0 E  
 G 1 0 L 21/02 2 0 2 A  
 H 0 4 R 1/40 3 2 0 A  
 H 0 4 N 5/225 F  
 H 0 4 N 5/232 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 28 年 4 月 11 日 (2016.4.11)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

画像情報を取得する撮像素子と、音声情報を取得する複数のマイクロフォンとを備えた音声入力装置であって、

前記撮像素子が取得した画像情報からユーザを検出するユーザ検出部と、

ユーザの方向の音声情報を取得するユーザ音声取得部とを備え、

前記ユーザ音声取得部は、前記検出されたユーザ位置に基づいて音声情報を取得する際の基準となるマイクロフォンを設定することを特徴とする音声入力装置。

【請求項 2】

前記ユーザ音声取得部は、前記ユーザ検出部で検出されたユーザの人数によって、前記基準となるマイクロフォンを変化させることを特徴とする、請求項 1 に記載の音声入力装置。

【請求項 3】

前記ユーザ音声取得部は、前記撮像素子を基準としたユーザの方向と、前記複数のマイクロフォンの中心を基準としたユーザの方向とがなす角より、前記撮像素子を基準としたユーザの方向と、前記基準となるマイクロフォンを基準としたユーザ方向とがなす角が大きくなるように、前記基準となるマイクロフォンを設定することを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の音声入力装置。

【請求項 4】

前記ユーザ音声取得部は、前記撮像素子を基準としたユーザの方向と、前記複数のマイ

クロフォンの中心を基準としたユーザの方向とがなす角より、前記撮像素子を基準としたユーザの方向と、前記基準となるマイクロフォンを基準としたユーザ方向とがなす角が小さくなるように、前記基準となるマイクロフォンを設定することを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の音声入力装置。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 の音声入力装置と、該音声入力装置が出力する音声情報を認識する音声認識部と、前記音声認識部で認識された結果に基づいて出力音声の制御を行う制御部と、前記音声情報に関連付けられた画像を表示する表示部と、を備えることを特徴とする画像表示装置。